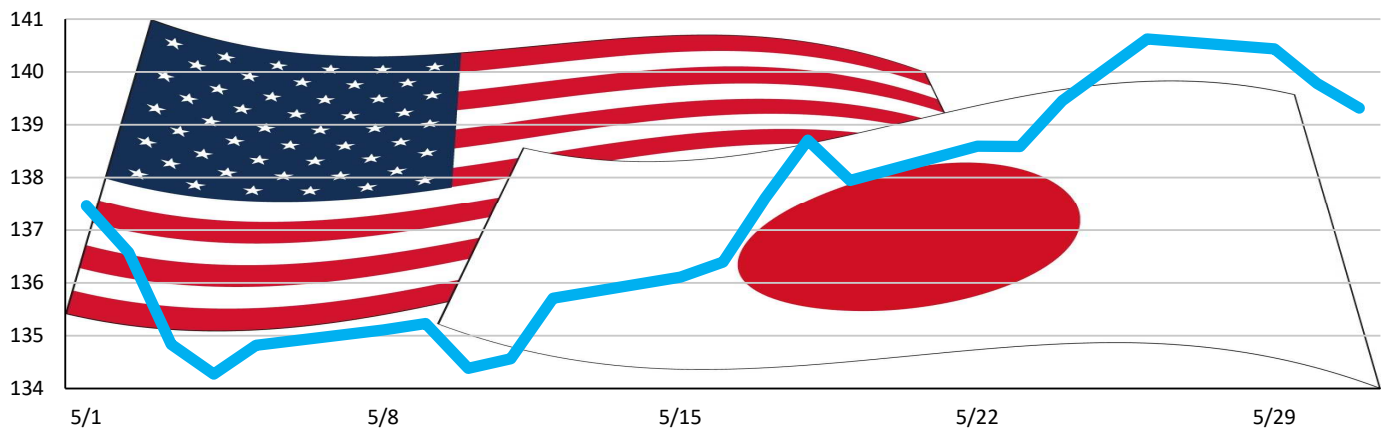


MARKET REVIEW

先月の振り返り：5月のドル円相場は133円半ば～140円後半で推移。月初の米FOMC後には利上げ打ち止めを意識したドル売りが進んだものの、良好な米雇用統計の結果を受けドル売りに歯止めがかかった。しかし米消費者物価指数と米生産者物価指数が市場予想を下回ったことで133円台までドル売りが進んだ。その後はFRB高官から利上げ継続支持発言や各米国経済指標が改善してきたことで、一転してドル買いが強まり138円台となった。ただパウエル米FRB議長が利上げ停止に含みを持たせた発言や米債務上限問題の交渉が難航との報道で足踏みとなる場面も見られたが、月末の米経済指標が軒並み良好な内容だったことで再びドル買いが進み、半年ぶりに140円台に達した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：各地区連銀総裁が利上げに慎重なスタンスを見せているが、米国の各経済指標は良好な数値が続いていることから、追加利上げの可能性が残っている。仮に利上げが打ち止めとなっても利下げに転換することはないだろうとの思惑や日銀金融緩和政策の長期化観測もあり、円安ドル高の動きが続いていきそうだ。ただ財務省、金融庁、日銀の三者会合が報じられ為替介入を警戒した円高となったこともあり、為替介入に関連する情報には注意を払っておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 15 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 16 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
6 / 22 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
6 / 29 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 30 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
7 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 12 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレザンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。